



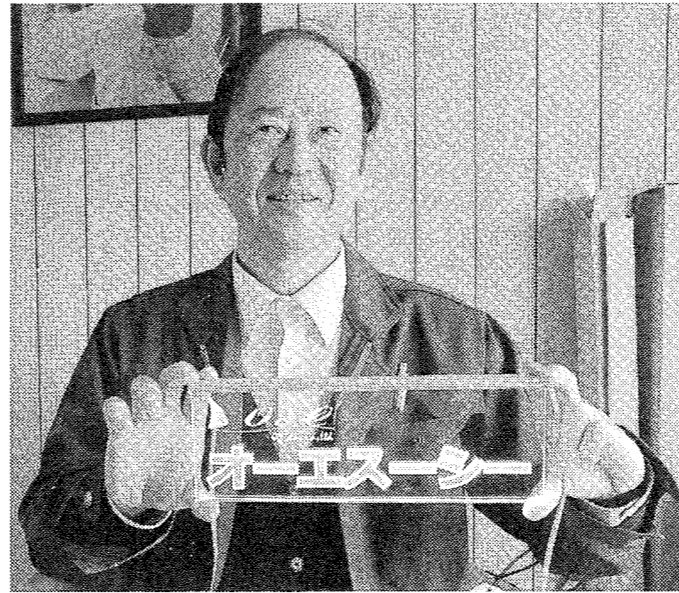
●尾張支社
一宮市栄
2-14-29
アスティール宮
北館102号
電話 0586(72)5003
FAX 0586(72)6823

●尾東支局
春日井市上条町
1-215
原ビル4階
電話 0568(41)9950
FAX 0568(41)9951

●半田支局
半田市泉町1-4
新美ビル4階
電話 0569(24)6320
FAX 0569(24)6367

企業向けにLED看板提案

オー・エス・シー 屋外使用を想定



自社のLED看板を手にする中嶋社長

タクシー行灯で実績、技術力PR

LED(発光ダイオード)関連商品の製造販売を手掛けるオー・エス・シー(本社小牧市久保一色、中嶋猛社長、電話0568・97・4029)は、オリジナル商品の製造販売に乗り出す。OEM(相手先ブランドによる生産)で生産する透明アクリルとLEDを使ったタクシーの表示灯「タクシー行灯(あんどん)」の製造技術を生かし、企業向けにLED看板の提案を始める。顧客ニーズに沿ってカスタマイズできる技術力をアピールし、販路拡大を目指す。

同社は2016年設立。LEDを活用した製品の開発から設計、製造、販売まで一貫して手掛けている。タクシー行灯は裏面に透明アクリル板を貼り、文字を印刷した透明アクリル板の中を光が乱反射し、文字が光って見える。

従来の行灯と比べ表示部の色抜けが抑制でき耐候性が高いことが特長。アクリル板内部の装飾や点滅、グラデーションなどにも対応できる。関東地方のタクシー会社を中心に採用が伸びており、小牧市のタクシールに、同サイズの透明アクリル板を無気泡で接着。接着したアクリルのエッジ部分から光を入れることで、アクリル板の中を光が乱反射し、文字が光って見える。

中嶋社長は「LEDの可能性や新たな用途を探り、独自の製品を作っていた」と話している。

女性用レザースニーカー発売

軽量で幅広 初年度1000足目指す

婦人靴の企画・販売を手掛けるワン・イレブン(本社北名古屋市沖村西ノ郷、後藤篤志社長)は、独自ブランド「華の風」の新製品「レザー スニーカー」を発売する。国産の本革仕様で、ゆったりした幅広4Eタイプ。サイド部分にファスナーを付けて履きやすい快適なスニーカーに仕上げた。3月下旬に発売し、初年度千足の販売を目指す。(北名古屋)

華の風は、外反母趾(がいはんぼし)を抱えるシニア女性向けのコンフォート(快適)シューズブランド。2014年



テレビスポーツ番組の通信販売も展開。近年は、全国の百貨店で期間限定で出店している。新製品のレ...



表彰される優秀生徒

【一宮】一宮商工会議所は19日、一宮市栄の同会議所内で市内の専門高校に在籍する高校生10人を「優秀生徒」として表彰した。優秀生徒には、豊島半七会頭が表彰状を手渡した。

同会議所は、地域の商工業の未来を担う人材育成事業の一環。在学中の資格取得など、優秀な成績を修めた3年生を表彰している。表彰は今回で5回目。高校別の優秀生徒数は、一宮高校1人、一宮商業高校2人、一宮工業高校2人、起工業高校2人、木曾川高校1人、修文女子高校2人。表彰式で豊島会頭は「高校で資格取得に励み、頑張った皆さんを応援している。卒業後の新しいステップでも活躍してもらいたい」とエールを送った。

表彰後、優秀生徒を代表して一宮商業高校の浅川紗矢さんと起工業高校の横地尚吾さんが謝辞を述べ、社会人となる決意を示した。

テレビスポーツ番組開始

エニアシア・ジャパン

【常滑】エニアシア・ジャパン(本社常滑市)をはじめとするエニアシアグループはこのほど、中京、北海道地区で新テレビショッピング番組を開始した。日...

19年度当初予算案

企業立地促進に
4億4500万円

【一宮】一宮市は、19日に発表した2019年度当初予算案で、企業立地促進事業に4億4500万円を計上した。

企業立地奨励措置制度を活用して、事業所の新設・増設と雇用創出に対して補助金を交付する。企業立地奨励補助金は2億9700万円、企業再投資促進補助金は1億3300万円を計上。また、企業立地関連で萩原多気線の道路整備を計画しており、延長1.1キロの測量業務委託費1450万円も計上した。

新規事業では、ロボティクス・プロセス・オートメーション(RPA)活用事業に580万円を盛り込んだ。実証実験で構築したRPAを市税業務システムに導入して、業務の繁忙期に利用することで作業効率化を図る。また、市役所でRPAの活用範囲を広げるため、各業務に合ったRPAのシナリオを作成できるソフトウェアを導入する。

観光センター改修に
2億8100万円

【犬山】犬山市は、19日に発表した2019年度当初予算案で、道の駅の推進費として998万円を計上した。

国道41号沿いに新たな都市拠点として開設を目指す「道の駅エリア」について、官民連携を前提とした基本計画を策定する。コンセプトや導入機能、規模、施設配置計画を立てるほか市場調査を進める。4年後の着工を目指す。

犬山国際観光センター

そのほか、住宅用業用地を整備する市発事業に3千万円、小企業を横断的に研究開発を高める人材定事業に220万円、菜「カリフォルネー」ブランド化事業に73万円を盛り込んだ。

ロイデの改修費用に
億8100万円を盛り込む。1階のレイアウトや貸会議室の増設を計画している。ロイデの機能や空調設備のLED(発光ダイオード)工事などを行い利便性向上を図る。また、観光の基幹を目的に、1200万

公共交通再編
1千万円計

【豊明】豊明市は、2019年度当初予算案に、コミュニティバスやデマンド型方式)乗合交通、前合所など公共交通再事業に計約1千万円を計上した。一般会計は過規模となった。

公共交通のコミュニティバス(ひまわりバス)1日から路線を大幅に再編する。を中心に運行範囲を拡大する。朝夕の通学利用を促進し、数も拡大する。



JAを訪れた車両を消毒する職員

今回が3回目の配布各営業センターは、対して一層の防疫強び掛けている。

同JA管内には25豚農家があり、約6飼養している。農家が繁殖から肥育、出の一貫生産体制をとり、地域外からの豚は少ないという。